

全国家電公取協 小売業部会

九州地区連絡会 第12回総会 報告書

松下義孝

- 1・日時 令和元年 6月25日(火)
13時30分 ~ 14時30分
- 2・場所 リファレンスはかた近代ビル
- 3・出席者 九州各県 支部長
公正取引委員会 事務総局 九州事務所 総務監理官 鶴成 昌昭 様
家電公取協製造業部会九州支部支部
岩永 光弘 支部長代理
株式会社 九州ケースデンキ 常務取締役 山崎 正
株式会社 エディオン 福岡西店 店長 桑原 勝利
- 4・次第
開会の言葉 佐賀県支部 松下支部長

会長の挨拶

本田 会長

4K対応テレビを見ている人が新規で4Kチューナーを購入した人の購入率は2%で有るとの話を最近聞いた。もっと新4K8K放送が盛り上がってほしい。我々と量販店が困っているのがNET販売で有る。特に「ジャパネットたかた」は措置命令が出ても新たなやり方で、販売攻勢をしている。皆で力を対応していきたい。

来賓挨拶

公正取引委員会 事務総局 九州事務所 総務監理官 鶴成 昌昭 様
平成30年度に消費者庁から景品表示法違反で措置命令を出されたのが46件ありました。前年度は50件でしたので2年連続の違反が増えています。又、課徴金命令は100億円を超える案件がありました。家電業界においては、各県の景品表示法の担当課とタイアップして店頭キャンペーン等様々な取り組みを通じて家電業界の適正化に努めておられ大変感謝している。今後も引き続き、消費者の適切な商品選択と、業界における公正な競争力の確保に努めて頂くようにお願いします。

家電公取協製造業部会九州支部

岩永 光弘 支部長代理

昨年の白物家電の販売実績は2兆4700億円で前年比の104%の伸びであった。薄型テレビは45億円で前年比110%も伸びであった。共に前年を上回る実績で

終わった。

10月から消費税増税と軽減税率が導入される事になり、そうした中、TVショッピングやチラシ、誌面の通信販売等で紛らわしい表示が多くなるのではと懸念される。消費者保護の観点から、厳正にかつ迅速に対処して頂くよう消費者庁に要望していきたい。家電業界にとっては消費者保護の観点から是正・抑制を実施して行く事が業界と企業の信頼を高める事になります。このためにも公取協の果たす役割が重要だと判断します。製造業部会としても消費者の適正な商品選択の保護と、公正な競争秩序の確保するために精一杯の努力をしていきます。

議長選出

本田 会長

議案審議

- 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度収支報告の件
- 第3号議案 平成30年度監査報告の件
- 第4号議案 令和元年度事業計画（案）承認の件
- 第5号議案 令和元年度収支予算（案）承認の件
- 第6号議案 令和元年度役員体制（案）承認件

結果

会長	(熊事県)	本田	支部長
副会長	(福岡県)	堤	支部長
副会長	(エディオン)	桑原	勝利
会計監事	(長崎県)	山科	支部長
会計監事	(ケーズデンキ)	高橋	修

第7号議案 その他

公正取引委員会へ質問

- 1) 「ジャパネットたかた」のチラシで値引きと同じ扱いながら『下取り』と表示されているが、おかしいのでは

答え 景品表示法に照らしてみると、言葉の定義としては必ずしも違反とは判断しにくい。個別事案として、調査依頼を試みる方法も有ります。

- 2) 「ジャパネットたかた」のチラシで 『値引き期間終了後税抜価格』の高い表示をして下取り、値引きしているが、将来価格表示は合法ですか。

答え 現在では現行景品表示法では問題は無い。ただし期間終了後にその値段で販売しなければ有利誤認の違反になります。

閉会の言葉

佐賀県支部 松下支部長